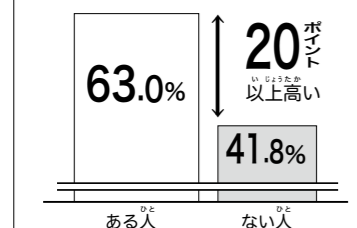


子どもと一緒に選挙にいこう

「子どもと一緒に選挙にいこう」。写真は岡山市が配布している広報うちわです。関東圏から引っ越してこられた方が、「岡山市はいいですね。子どもと一緒に投票所に行くことができる。ぼくの住んでいたところでは、子どもは投票所に入れてもらえなかったのです」と言われました。さっそく岡山市選挙管理委員会に尋ねますと、「私たちは呼びかけていますよ。広報うちわを配布していて、人気があります」とのことでした。将来の投票行動につなげたいという想いがあるようです。



子どもの頃に親の投票についていたことのある人・ない人の投票参加の比較



※ 2016 参院選後の総務省「18 歳選挙権に関する意識調査」(18～20 歳までの男女 3,000 人に行ったインターネット調査より)

総務省の調査によると、「子どもの頃に親の投票についていたことのある人・ない人の投票参加の比較」において、ある人の方が 20%も投票参加が高くなっています。

今回の参議院岡山選挙区の投票率は 45.08%と、参議院選挙において過去最低となりました。暮らしのなかで、政治のことを子どもたちと語り合っていきたいですね。

・こんなスポット・

三さんクラブの木造放課後児童クラブ施設

放課後児童クラブ施設、2018 年度建設の 11 施設はすべて木造です。その一つの「三さんクラブ」を見学しました。「大きな家」のような外観で木の香りがします。縁側があり、随所に地域の皆さんの想いが込められていました。2019 年度建設の 6 施設もすべて木造です。「プレハブから木造に」と働きかけてこられた方の願いが叶い、嬉しかったです。



編集後記 ★朝採り野草での「朝ごはん」。我が家の周りでサベリヒユを見つけました。これをトマトと和えるサラダが美味しいのです。思い立って、ツユクサを胡麻和えに。野草状態の青ジソとニラも摘んで、天ぷらと玉子焼きに。清々しい無邪気な朝ごはんになりました。



※鬼木のぞみの活動日誌は、ブログ・フェイスブックをご覧ください。 http://yaplog.jp/niji_oni/ 携帯でもどうぞ。

のぞみ日誌から

バス停「津島南」の誕生

「妙善寺」行きの岡電バス。バス停「津島南」が新しくできて、6月1日から平日1日10便（土日祝は9便）が延伸しました。5月31日に試運転があり、町内の皆さんと乗ってみました。地域の皆さまの長年の取り組みの賜物です。



学校図書館カフェ in 吉備 (6.2)

「学校図書館を考える会・おかやま」主催。小中学校の学校司書からの報告があり、会場は多くの市民でいっぱいでした。教員と連携し、子どもの成長に向けて奮闘しておられます。学校図書館は人生のベースを築きます。すべての学校に学校司書の正規配置が必要です。

初夏の風物詩ホテル

岡山大学での「ほたる祭り 2019」(5.11)、御津・宇甘西ホテルまつり (6.1)、大供三股用水でまちなかホテル (6.6)、大野川ホテル調査会 (6.15)。恵まれた環境を未来にと願う皆さんの気持ちに感銘を受けます。

APDF プレイベント (6.29)

2020 年 6 月に岡山市で開催される APDF (アジア太平洋ディレクシアフォーラム) のプレイベントが岡山大学を会場に行われました。インクルーシブ教育について、読み書きが困難なディレクシアの人たちを通して考えます。プレでは、適切なアセスメントと学びの工夫で、子どもの持つ力が生かされることを学びました。

ふえみん泊まってシンポ in 岡山 (7.13～14)

「ふえみん」は全国の女性たちからなる NGO。女性の手による女性のためのメディア「ふえみん婦人民主新聞」を発行しています。岡野八代さん(同志社大学大学院教員)による講演「改憲とジェンダー」を柱に、分科会(戦争に NO、終末期医療、防災、子どもと貧困など)でも、熱心な討議が繰り広げられました。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.49

2019 年 6 月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2019 年 7 月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田 5 丁目 8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居 2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



2019 年は「子どもの権利条約」採択 30 年 ～ 初岡山市議会報告会のテーマは「児童虐待」～

西日本豪雨災害から一年が経ちました。岡山県内だけでも災害関連死を含め 79 人が亡くなられ、未だ約 7,200 人の方が仮設住宅で暮らしておられます。生活再建への道りは遠いです。

被災者に寄り添い、防災にとりくむことで、安心と希望のある暮らしを築いていきたいです。

議会への市民参加の仕組みが必要です

5月26日、岡山市議会でははじめての議会報告会が行われました。テーマは「どのように虐待に向き合うか」です。約 200 人の参加者で会場は満席状態でした。私はずっと議会報告会が必要だと思ってきましたので嬉しかったです。市政とともに、議会への市民参加が必要です。

議会にワーキングチームを作り、議員提案の「岡山市子どもを虐待から守る条例」を昨年の 11 月議会に策定。4 月 1 日に施行されました。議会報告会では、

その経過や内容を伝え、どう生かしていくのかを市民の皆さんと共有するのが目的でした。

基調講演の直島克樹(川崎医療福祉大学)さんは、「リスクがあるから虐待をするのではなく、リスクへのサポートがきちんとできていなかったり、継続ができていないと虐待を助長する。条例を実効力あるものにするために、目標設定と、計画をつくるのが大切だ」と述べられました。肝に銘じて臨みたいですね。

見えない傷みを見る。私たちにできることを

岡山市は 2009 年にこども総合相談所が開設され、丸 10 年が経過しました。児童虐待相談件数は増加しており、2018 年度は 431 件(地域こども相談センターへの件数は 376 件)です。

2019 年は「子どもの権利条約」採択 30 年、日本批准 25 年の記念の年です。子どもは、生れながらにして一人の人格として認められ、幸せに生きる権利があります。岡山市の子ども施策にはこの観点が必要で



大きな反響があった長谷川美祈写真展『Internal Notebook』(2019.5.9～5.12、岡山県生涯学習センター、(一社)ぐるーん主催)。虐待を受けて育った子どもたちの内面的な心の叫びのノートとともに、現在の皆さん方の大きなポートレートが展示されている。

おにき・のぞみ

*被災された皆さまには、いかがですか。困っておられることなどご連絡ください。防災についてもご意見をお寄せください。

6月議会 個人質問から

質問項目

1. 防災～西日本豪雨災害をうけて～
 - (1)警戒レベルによる避難情報等
 - (2)防災教育教材「避難行動訓練 EVAG」
 - (3)行政・NPO・ボランティア等の三者連携
2. 人にやさしい人権尊重のまちづくり
 - (1)こども子育て支援
 - (2)DVや児童虐待等による住民票等の支援措置
3. 新斎場



2019年6月議会。☆西日本豪雨災害支援・防災について。そして、10月からの就学前教育・保育無償化、国が進める自治体非正規職員の来年度からの会計年度任用職員制度、岡山市が来年度から始めようとしている放課後児童クラブの再編など、重要なテーマの多い議会でした。☆岡山市は政令市移行10周年を迎えました。市民ネット代表質問では、政令市の権限をいかした身近なまちづくりを求めました。

1. 防災～西日本豪雨災害をうけて～

「岡山市災害ボランティアネットワーク」が立ち上がりました

Q：西日本豪雨災害をうけて、政府は住民が必要な行動を直感的に理解できるよう、避難情報等を5段階の警戒レベルに改定しました。積極的に広報を。数字での表現は、漢字が読めない外国人等にも有効なので国際課と連携して進めてほしい。



A：公共施設・民間施設において可能な範囲でポスター掲示やチラシ配布をするようお願いする。メディアを通じての発信や出前講座もしたい。外国人については関係部局と協議しながら周知に務める。

Q：行政・NPO・ボランティアの三者連携による情報共有会議の整備が必要ではありませんか。

A：ESD・市民活動推進センターを活用し、行政、市社会福祉協議会、NPO等の三者が連携し、平時には顔の見える関係づくり、災害時には迅速に情報共有をし被災者支援を行うネットワーク構築を進めている。7月4日に第1回会合をもつ。

2. 人にやさしい人権尊重のまちづくり

「障害者のしおり」。障がい児サービス記載をわかりやすく工夫

子どもに支援が必要だとわかったとき、いったい何をしたらいいのか、どんな制度があるのか。何を質問すればいいのかわからず、不安だったと言われました。

Q：岡山県は、上記のように、初めて支援制度を利用しようとするご家族にむけて、「こどもたちの育ちや自立を支援する制度について」というハンドブックを作っています。「はじめまして」とスタートし、「制度は難しく、何かとわからないことが多い」と書かれ、家族の気持ちに寄り添ったわかりやすいものです。岡山市版をつくりませんか。

A：現在の「障害者のしおり」を障がい児のサービスがよりわかりやすくなるように工夫をします。手渡すときには丁寧に説明をしたい。



DV 被害者への住民票等非開示の支援措置。万全をつくりたい (市長)

今年1月に里庄町が、DV被害女性の住所がわかる書類を、加害者である元夫の弁護士からの申請で、この弁護士に郵送しました。この女性はDV被害による住民票等非開示の支援措置を申し出ました。居所が加害者に伝わり生命を落とす事態もあります。1件たりとも起こしてはいけません。

Q：岡山市において市内では、支援措置の徹底や研修を関係課も含めてどのように行っていますか。

A：区役所、支所、地域センターだけでなく、関係各課(税や福祉などです。鬼木)にも支援措置の徹底を図り、総務省等からの通知文についても周知徹底を図っている。研修については、毎年行う関係課を集めた研修に加え、各種通知や各自治体の誤交付の事例等を活用している。



改選後はじめての議会。私は、誰一人取り残さないSDGs(持続可能な開発目標)達成に資する岡山市政推進に取り組みたいと冒頭に述べました。

半田山土砂災害の復旧、津島小学校北側壁面の点検

ご心配をおかけしています。

雨のシーズンになり、半田山の大きな土砂崩れのあとを見ると、気持ちがワサワサします。でも7月に入って、岡山大学による復旧工事(西側・東側とも)が始まり、ホッとしています。今年中に完成予定とうかがっています。

また、6月には梅雨入りを前に、津島小学校北側壁面の点検が、岡山市教育委員会の担当者と前回調査をした民間調査会社で行われました。設けられた観測点の擁壁傾斜は、昨年8月の状況と変わりはなく問題はないとのこと。これからも季節ごとの定期点検と豪雨や地震(震度4以上)後の緊急点検が行われます。

6月議会の議案から

非正規職員への真摯な対応が必要

国の法改正で、2020年4月から会計年度任用職員制度が施行されることになり、岡山市でも条例改正が行われました。市民サービスの低下を招かないこと、現在、働いている非正規職員の待遇改善が必要だと考えますが、一つひとつの職務・職責における時間数や待遇が定まっていななかでの条例改正です。なかには正規化が必要な場合もあります。他にも多くの課題あります。真摯な岡山市の対応が必要です。

幼児教育・保育無償化 受け皿確保ができていない

この10月から行われる、幼児教育・保育の無償化に向けての条例改正が行われました。岡山市は待機児童数も未入園児童数(認可園に申し込んだけど入園できなかった)もまだまだ多いのが実情です。とりわけ今までどの園にも通っていなかった3歳児が申し込む可能性は大きいです。その受け皿づくりについて議会では指摘されてきましたが、対応が全く不十分です。少なくとも3歳児受け入れの方針を出して条例制定に臨むべきでした。

Q：岡山市民を守るためにも、どの自治体でも適正な支援措置が行われるよう働きかけてほしいです。何ができますか。

A：県内15市で構成する岡山県都市市民課事務研究会などの機会をとらえ、各自治体との情報共有につとめている。

3. 新斎場(岡山北斎場)



安全性に不安あり。ていねいなボーリング調査をなぜしないのか

岡山北斎場は、現在、侵入路工事が行われています。斎場本体の基本設計は、排気ガスの環境シミュレーションと並行して7月末を目標に作業をしている。火葬炉や排気筒の仕様や基礎工事、また環境の影響については、基本設計が固まったら早い時期に市民に示すと。

基本設計にあたっての事前調査では斎場本体についてはボーリング調査をしないとのこと。工事では土地を攪拌し、空気が触れることになるので心配です。

